

平成 19 年（2007 年）能登半島地震に対する対応（第 17 報）〔最終報〕

平成 19 年 6 月 20 日

17 : 30 現在

国土地理院

平成 19 年 3 月 25 日 9 時 42 分頃、石川県能登半島沖を震源とする地震が発生した。これを受けて国土地理院においては、同日 9 時 57 分に「石川県能登半島沖を震源とする地震」災害対策本部（本部長：国土地理院長）を設置した。

なお、気象庁が本地震を「平成 19 年（2007 年）能登半島地震」と命名したことに伴い、災害対策本部の名称を「平成 19 年（2007 年）能登半島地震」災害対策本部に変更した。

これまでの国土地理院の対応は以下のとおりである。

1. 地震の概要

1) 地震の状況（気象庁情報）

①震源地 能登半島沖（北緯37.2度、東経136.7度）

②震源の深さ 11 km

③規模 マグニチュード 6.9（暫定値）

④各市町村の最大震度（震度 5 弱以上）

震度 6 強	石川県	七尾市、輪島市、穴水町
震度 6 弱	石川県	志賀町、中能登町、能登町
震度 5 強	石川県	珠洲市
震度 5 弱	石川県	羽咋市、宝達志水町、かほく市
	富山県	富山市、滑川市、舟橋村、氷見市、小矢部市、射水市
	新潟県	刈羽村

震度 4 以下は省略

⑤津波 津波注意報（11:30 すべて解除）

石川県珠洲市 最大波 11:13 20cm 観測

金沢市 最大波 11:08 20cm 観測

2) 地殻変動

3 月 27 日 9 時までのデータを解析した結果、志賀町富来で南西方向へ約 21 cm の移動と約 7 cm の隆起、穴水町大町で北西方向へ約 12 cm 移動と約 2 cm の沈降となった。

（3 月 28 日 14 時 00 分現在暫定値）

2. 災害対策本部等

1) 災害対策本部

3 月 25 日（日） 9 時 57 分 「石川県能登半島沖を震源とする地震」災害対策本部（本部長：国土地理院長）を設置。

12 時 15 分 第 1 回災害対策本部会議を開催。

	15時30分	第2回災害対策本部会議を開催。
	19時00分	第3回災害対策本部会議を開催。
3月26日(月)	10時45分	第4回災害対策本部会議を開催。
	16時00分	第1回災害対策本部事務局会議を開催。
3月27日(火)	8時40分	第5回災害対策本部会議を開催。
	17時30分	第6回災害対策本部会議を開催。
3月28日(水)	11時00分	第7回災害対策本部会議を開催。
3月29日(木)	9時30分	第8回災害対策本部会議を開催。
3月30日(金)	11時00分	第9回災害対策本部会議を開催。
4月5日(木)	11時00分	第2回災害対策本部事務局会議を開催。
4月6日(金)	8時30分	災害対策本部から災害対策会議へ移行。
4月25日(水)	8時30分	災害対策会議を閉鎖し、注意体制へ移行。

2) 地方対策本部

3月25日(日)	9時57分	北陸地方測量部に地方災害対策本部を設置。
4月25日(水)	8時30分	地方災害対策本部を閉鎖。

3. 主な活動状況

1) 地理情報の提供

3月25日(日)	内閣府等に電子メールで地図画像を提供。 国土交通省道路局国道・防災課道路防災対策室に被災地の2.5万分1地形図、5万分1地形図及び20万分1地勢図を提供。 内閣府等に電子メールで災害概況図を提供。
3月26日(月)	北陸地整富山河川国道事務所災害対策室に被災地の20万分1地勢図を10万分1に拡大した地図及び2.5万分1出力図を提供。
3月27日(火)	輪島市対策本部に2.5万分1出力図を提供し、穴水町に3万分1出力図を提供。 政府現地連絡対策室(輪島市役所)に被災地の2.5万分1地形図、5万分1地形図及び20万分1地勢図を提供。
3月28日(水)	北陸地整金沢河川国道事務所、石川県に災害対策用図、被災地の20万分1地勢図を10万分1に拡大した地図及び2.5万分1出力図を提供。 北陸地整富山河川国道事務所に災害対策用図を提供。 輪島市に2.5万分1出力図を追加提供及び災害対策用図を提供。 穴水町に災害対策用図を提供。 七尾市、志賀町に災害対策用図及び2.5万分1出力図を提供。 珠洲市、能登町、中能登町に被災地の2.5万分1出力図を提

供。

土木研究所に被災地の空中写真データを提供。

政府現地連絡対策室、北陸地整、金沢河川国道事務所、富山河川国道事務所、農林水産省北陸農政局、石川県、輪島市に被災地の空中写真データを送付。

3月30日（金） 政府現地連絡対策室、北陸地整、金沢河川国道事務所、富山河川国道事務所、農林水産省北陸農政局、石川県、輪島市、志賀町に正射写真図を送付。

2) 緊急現地調査

3月25日（日）～28日（水） 輪島市市街、門前町付近、志賀町及び七尾市において被害状況調査を実施。

4月 9日（月）～13日（金） 被災地に設置されている三角点・水準点の調査を実施。

4月18日（水）～19日（木） 地形変形の調査を実施

3) 現地との連絡

地方対策本部と連絡をとり現地の情報を収集。

4) GPS連続観測による地殻変動の監視

3月25日（日） 3月25日12時までのデータを解析するとともに、地理地殻活動研究センターにおいて震源の断層モデルを推定。

3月26日（月） 北陸地方測量部職員2名を、電子基準点点検調査のため「富来」志賀町に派遣。

3月27日（火） 北陸地方測量部職員3名を、電子基準点点検調査のため「穴水」穴水町、「能登島」七尾市に派遣。
電子基準点点検調査により、電子基準点「富来」志賀町及び「能登島」七尾市で観測点の傾斜が確認されたため、傾斜量の測定を基に地殻変動量を補正。

5) 空中写真の撮影

3月25日（日） 15時30分 26日に被災地域の空中写真撮影実施を決定。

3月26日（月） 9時30分 輪島地区の空中写真撮影を開始。

14時25分 輪島地区の空中写真撮影を終了。

6) 会議等への出席

【政府関連】

3月25日（日） 14時00分から開催の国土交通省内連絡会議に参事官が出席。

17時00分から開催の災害対策関係省庁連絡会議に参事官が出

席。

18時00分から開催の国土交通省内情報連絡会議（課長級）に総務部長が出席。

3月26日（月）10時00分から開催の地震調査委員会（国土地理院が共同事務局）臨時会に、地理地殻活動研究センター長が出席。

18時30分から開催の災害対策関係省庁連絡会議に防災企画官が出席。

3月30日（金）17時00分から開催の災害対策関係省庁連絡会議に企画部長が出席。

4月20日（金）13時00分から開催の能登半島復興対策に関する関係省庁局長会議に院長が出席。

6月19日（火）10時00分から開催の能登半島復興対策に関する関係省庁局長会議に院長が出席。

6月20日（水）17時30分からの中央防災会議幹事会に参事官が出席。

7) 記者発表等

3月25日（日）17時00分 「石川県能登半島沖を震源とする地震に伴う地殻変動（第1報）」を発表。

3月27日（火）19時00分 「平成19年（2007年）能登半島地震による被災地の空中写真を公開」を発表。

3月28日（水）14時00分 「平成19年（2007年）能登半島地震に伴う地殻変動（第2報）」を発表。

3月29日（木）15時00分 「平成19年（2007年）能登半島地震」に伴い基準点測量成果の公表を停止」を発表。

4月12日（木）15時00分 「人工衛星データを用いて能登半島地震に伴う地殻変動を詳細に把握」を発表。

8) 国土地理院ホームページによる情報提供

3月25日（日）14時30分 「石川県能登半島沖を震源とする地震関連ページ」を開設。

3月26日（月）15時00分 「電子基準点データサービス」の「お知らせ」に能登半島地震に伴う電子基準点成果に関する注意喚起文を掲載。

3月28日（水）14時00分 『「平成19年（2007年）能登半島地震」に伴う基準点測量成果の取り扱いについて」を国土地理院ホームページで公表

16時00分 「電子国土」による空中写真標定図※を公開。
空中写真についても併せて公開。

※ 空中写真撮影位置を記載した地図

3月29日（木）16時30分 「電子国土」による正射写真図を公開。

- 3月30日(金) 16時00分 「電子国土」による災害状況図(暫定版)を公開。
4月 4日(水) 16時00分 「電子国土」による災害状況図(最終版)を公開。
4月23日(月) 8時30分 「『平成19年(2007年)能登半島地震』に伴う電子基準点測量成果の改定」を公表。

9) 復旧測量

- 5月 8日(火)～25日(金) 三角点の改測作業を実施。
5月16日(水)～ 水準点の改測(高精度三次元測量)作業を実施。
5月16日(水)～ 三角点の改測(高度地域基準点測量)作業を実施。

10) その他の動向

- 3月25日(日) 10時45分頃 国土交通省防災センターに、関東地方測量部次長が参集。
3月25日(日)～26日(月) 溝手防災担当大臣を団長とする政府調査団に関東地方測量部調査課長が参加。
3月30日(金) 北陸地方測量部より石川・富山県内の国及び地方公共団体の公共測量計画機関に対し、基準点測量成果の公表停止と公共測量作業実施にあたっての注意事項を示した文書を送付。
4月 5日(木) 北陸地方測量部職員2名を、地球電磁気連続観測点「志賀」の調査のため志賀町に派遣。
4月 9日(月) 地震予知連絡会を開催。
4月12日(木) 震源域周辺の陸域における面的地殻変動分布を把握するために陸域観測技術衛星「だいち」による合成開口レーダーデータの干渉解析を実施。